中期経営計画の概要 (2010年度~2012年度)

2010年 5月 18日 日本軽金属株式会社

策定の背景と位置付け



- <前·中期経営計画 (2007 2009年度) >
 - 外部環境の急変により数値目標は未達成であり、財務体質の改善には至らなかったが、基本方針で定めた諸施策は着実に実行

新日軽(株)の譲渡を決定し、建材事業の構造改革を完遂成長分野への取り組み・海外展開を加速

- <足下の課題 >
 - 新日軽分離後の日軽金グループ再構築
 - 外部環境に左右されない基礎収益力の確立と財務体質の強化
 - 地球環境への貢献、コーポレート・ガバナンスの充実、人財育成
- <新·中期経営計画 (2010 2012年度) >
 - 各事業ユニットが、5年後(2014年度)をイメージし、そこに至るための3ヵ年の方針 とアクションプランを作成

本計画において日軽金グループの新成長戦略を具現化

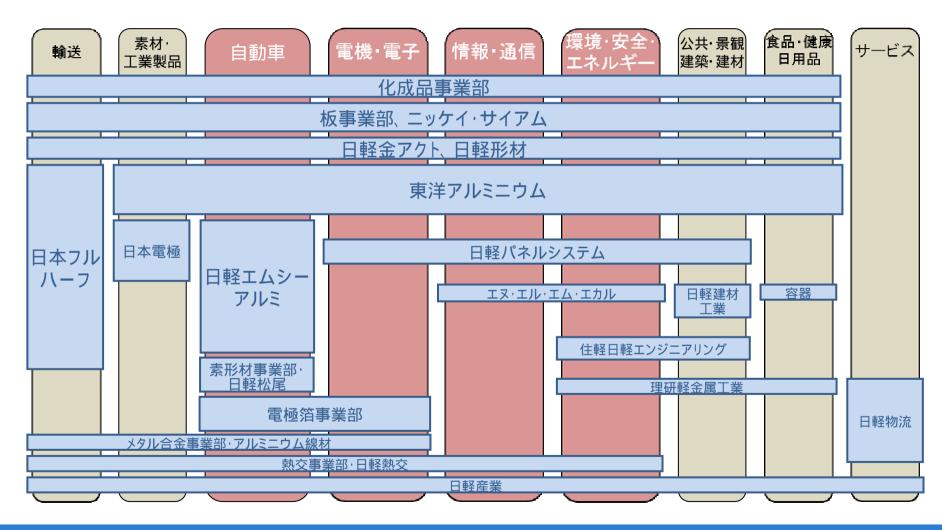
基本方針



- 1.成長分野を攻めるユニットへの資源集中
- 2. 業界NO.1ビジネスの強化
- 3.中国、東南アジアを中心とする海外ビジネス展開加速
- 4.要素技術複合化による用途開発と新商品の創出
- 5.アルミニウムの特性の追求による地球環境保全への貢献
- 6.財務体質改善と復配
- 7. 人財育成 (07中計からの継承)
- 8. CSRとコーポレートガバナンス (07中計からの継承)

日軽金グループの事業領域





成長分野を攻めるユニットへの資源集中(1)

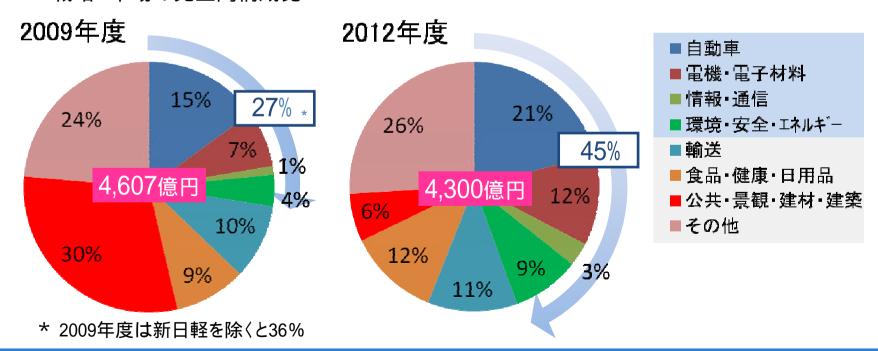


今後の成長や新たな用途開発が見込める

自動車 電機・電子材料 情報・通信 環境・安全・エネルギー 市場

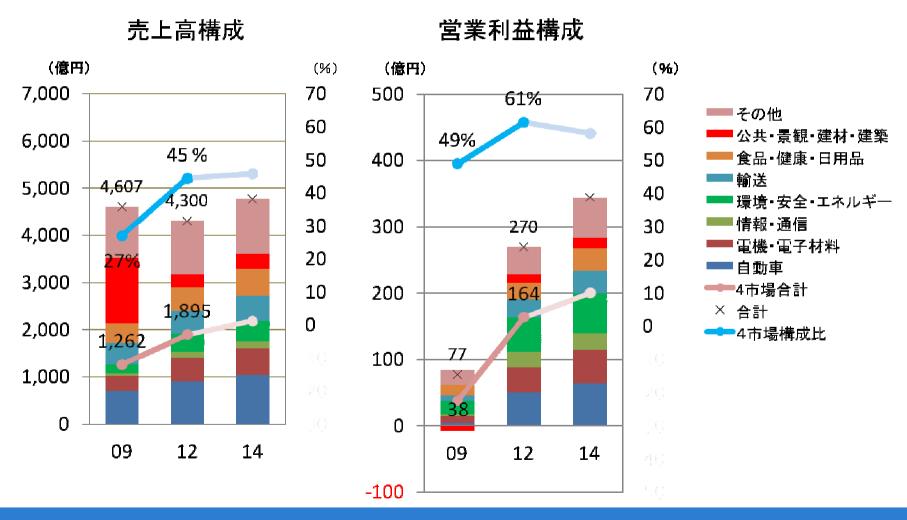
この4市場を攻めるユニットへ重点的に経営資源を投入

戦略4市場の売上高構成比



成長分野を攻めるユニットへの資源集中(2)





成長分野を攻めるユニットへの資源集中(3)



自動車

(売上高) 09年度 687億円 12年度 890億円

化成品事業部: アルミナ(自動車触媒)

メタル合金事業部: ワイヤーハーネス用素材

日軽エムシーアルミ: 開発合金 海外新拠点

日軽金アクト: 自動車部品 中国強化

板事業部、ニッケイサイアム: 熱交材 現調対応

東洋アルミニウム: パウダー・ペースト

素形材事業部、日軽松尾: LED用放熱ダイカスト 熱交事業部、日軽熱交: 次世代コンデンサー

情報通信

(売上高) 09年度 51億円 12年度 130億円

板事業部: 電池材、筐体材

日軽金アクト、日軽熱交: 液冷モジュール 東洋アルミニウム: パウダーペースト NLMエカル: モジュール型データセンター

電機·電子

(売上高) 09年度 336億円 12年度 500億円

化成品事業部: FPD、半導体関連素材、放熱フィラー

板事業部: 厚板加工製品

東洋アルミニウム: 箔、パウダー・ペースト

電極箔事業部:高容量箔開発

環境・安全・エネルギー

(売上高) 09年度 188億円 12年度 375億円

板事業部: LiB関連材料 日軽金アクト: MAXUS

東洋アルミニウム: バックシート、パウダー・ペースト

増設

日本電極: LiB関連素材

住軽日軽エンジニアリング: 耐震ブレース

成長分野を攻めるユニットへの資源集中(4)



東洋アルミニウム

電子機能材事業

- ・太陽電池用バックシート増産(中国)
- ・太陽電池用電極インキ(アルソーラー)および 原料粉末製造設備増設(国内、中国)

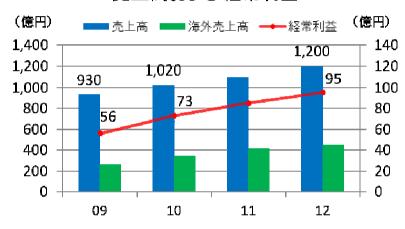
箔事業

- ・機能性固体高分子コンデンサー用箔増産
- ・コンデンサー箔拡販
- ·医薬品包材用加工箔増販
- ・撥水性アルミ箔(新商品)

ペースト事業

- ・自動車・家電塗料用高輝度ペースト拡販
- ・環境対応水性ペースト拡販

売上高および経常利益



設備投資



業界No.1ビジネスの強化(1)



日軽金グループのNo.1ビジネス

アルミナ・化成品、地金セグメント

化成品

アルミナ、水酸化アルミ 有機塩素化合物

日軽エムシーアルミ

開発合金

板、押出製品

板

Liイオン電池ケース素材

日軽金アクト

トラック部材、新幹線部材

加工製品、関連事業

東洋アルミニウム

自動車塗料用ペースト 太陽電池関連素材 箔事業

日本フルハーフ

トラック架装事業

日軽産業

溶接線

容器

ビール樽

日軽パネルシステム

パネル事業

日本電極

高炉用カーボンブロック

住軽日軽エンジニアリング

アルミ製景観構造物

業界No.1ビジネスの強化(2)



アルミナ・化成品

原料転換(ボーキサイト輸入 水酸化アルミ輸入)を機に販売量増加を図るとともに、 高付加価値製品(高純度、微粒)の能力増強・拡販を行う

- ・アルミナ、水酸化アルミ製品の高付加価値化・・・ローソーダ、高純度、微粒
- ・有機塩素化合物・・・・医薬・農薬、電子部品、樹脂向け製品開発と拡販

成長分野への資源集中

自動車

・高機能プラグ向け、排ガス浄化フィルター向け製品の拡販

電機・電子

・放熱フィラー向け拡販。LED、LiB向け製品開発

海外ビジネスの展開加速

・ 韓国·台湾·東南アジア向け輸出拡大 (耐火物、液晶ガラス、凝集剤向け水酸化アルミ)

用途開発、新商品創出

・放熱フィラー用、LiB用、サファイア基板用アルミナ製品開発

アルミにこだわり、アルミを超えていく

中期経営計画(2010年度~2012年度)の概要

中国、東南アジアを中心とする海外ビジネス展開加速

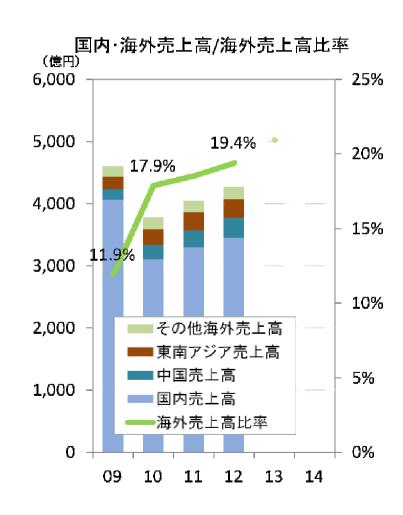


計画実施予定

- 東洋アルミニウム: 肇慶東洋アルミ
 - 太陽電池用バックシート設備増設
 - 太陽電池用電極インキ設備新設
- 日軽金アクト: 日軽(上海)汽車配件
 - サンルーフレール設備増設
- 板事業部: ニッケイ・サイアム
 - 熱交材、箔用を中心に板生産能力増強

新中計で検討する拠点

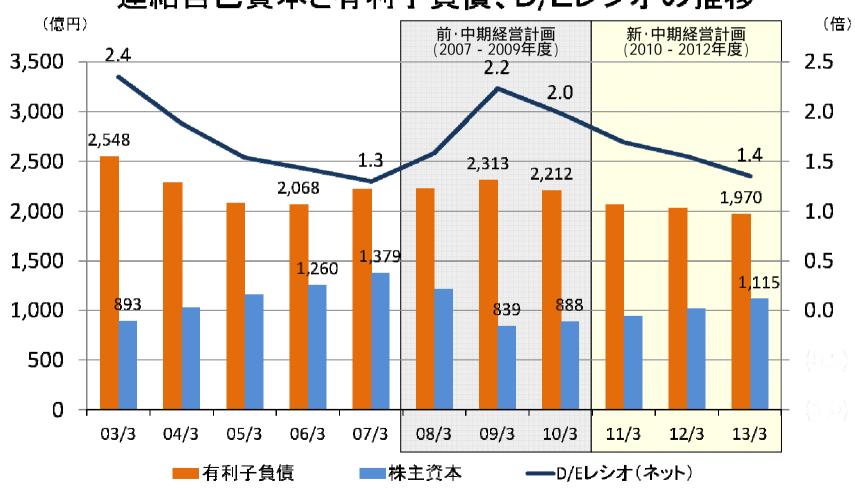
- 日軽エムシーアルミ: アジア第3拠点
- 日軽金アクト: 中国第3拠点
- 東洋アルミニウム: 原料粉末製造ライン
- 日本フルハーフ: 中国新拠点
- 日軽パネルシステム: 東南アジア新拠点
- 熱交事業部: 東南アジア新拠点
- その他



財務体質改善と復配(1)

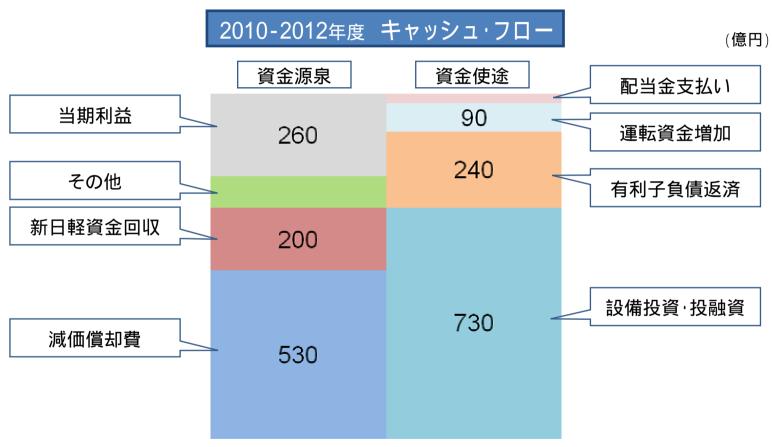


連結自己資本と有利子負債、D/Eレシオの推移



財務体質改善と復配(2)

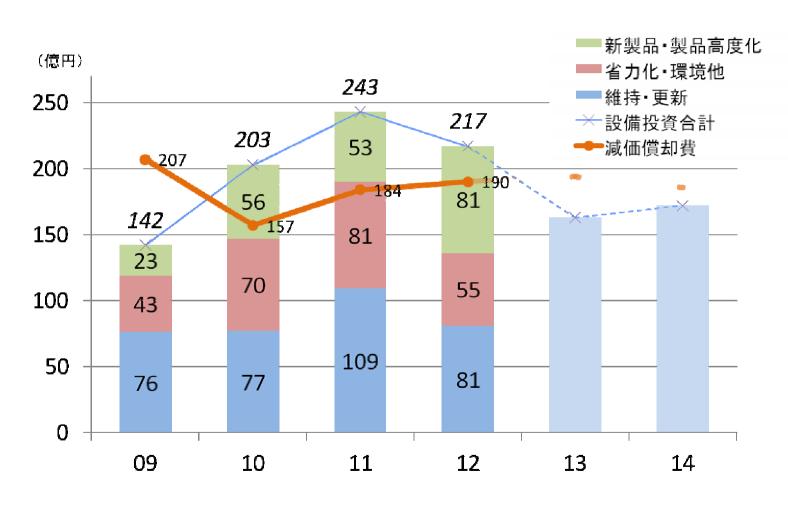




- ・新日軽の資金を回収し、成長分野へ投資
- ・利益を原資に復配するとともに、有利子負債も返済し、財務体質を改善

設備投資および減価償却費





主な設備投資 (3ヵ年合計)



化成品事業部	清水工場原料転換関連	60億円
東洋アルミニウム	太陽電池用電極インキ増産	27億円
	太陽電池用バックシート増産	10億円
日軽パネルシステム	ノンフロンパネル生産ライン	10億円
ニッケイ・サイアム	圧延能力増強	8億円

2012年度 数值目標



(億円)

20	900	一	莊	
ZU	ルしこ	74	反	

売	ل	=	高	4,607 *
営	業	利	益	77
経	常	利	益	27
当	期約	屯利	益	21
期ヲ	と 有 禾	引子負	負債	2,212
ネッ	· FD/	Eレ	シオ	2.0倍
R	0	C	Е	2.2%

< 2012年度 >

、といと十尺~
4,300
270
200
120
1,970
1.4倍
9.1%

<実績>

地金市況: 212千円/トン

為替: 93円/US\$

<前提>

地金市況: 250千円/トン

為替: 90円/US\$

^{*} 新日軽を除いた売上高は 3,441億円。

経常利益変化要因 (09年度 12年度)



